

アに於ける、「肉の内の刺」、「自由の辯證法」、「飛躍」、「眞理と現實性」、「重複」、「キリスト教的なものの變形」等に就ての多くの論文を發表している。(筆者 大阪外國語大學〔哲學〕教授)

## 彙報

### 京都大學文學部哲學科卒業論文題目

——昭和三十三年三月——

#### 哲學專攻

學士 大林 信治 思惟と詩作 (Heldesgar 哲學の一考察)

溝口 競一 人間存在の有限性について

修士 鯉坂 眞 カントの歴史觀をめぐって

竹市 明弘 存在と頽落

長橋 壯 A. N. Whitehead's Method of Extensive Abstraction

#### 西洋哲學史專攻

學士 田中 治男 精神現象學に於ける近代社會觀

辻 通男 プラトンの「パイドン」をめぐって

津村 寛二 プラトんに於けるヒュポテシスの方法について

修士 田伏 正義 スピノザ哲學における自由について

塚崎 智 カントにおける自然と倫理の間

長坂 公一 プロタゴラスの人間尺度説

——プラトンの「テアイテトス」第一節を理解するために——

布村 忠雄 カント空間論

——數學的側面——

三嶋 唯義 單純性と眞理

——デカルトとマルブランシュ——

#### 印度哲學史專攻

修士 十文字文丸 ヨーガに於ける潜在意識の問題

#### 支那哲學史專攻

學士 石倉 尙江 禮記に於ける禮の思想

修士 水原 渭江 殷虛卜辭及び金文並びに後時史料より見たる殷周王朝の音樂的變遷

#### 心理學專攻

學士 青野貴美子 言語系列學習における分配學習法の問題

岩瀬 慶孝 リーダーの型と子供の行動について

鬼丸 正巳 圖形殘效の測定における検査圖形の提示條件について

栗田 清 社會心理學におけるコミュニケーションについての研究

小牧 純爾 白鼠に依る明暗辨別における過剩學習の問題

佐々木士郎二 時程縱時比較における時間順位誤差について

高橋 定嗣 家庭内關係と兒童のパーソナリティについて

——テストによる調査法を中心として——

古瀬 保夫 要求水準の一變數としての家族集團の體制化について

松下 裕 戦後中學生に於ける道德意識集團の壓力について

松原 久 迷路學習に於ける領域の形成について

安田 悌治 親子關係の心理學的研究

大石 準一 空間的適應の統合系について

河村 豊次 音の繼時比較における時間順位誤差

清水 芳次 倫理學專攻

森清 善行

倫理學專攻

寺崎 峻輔 カントに於ける自由論の一考察

横山 繁久 カントの宗教哲學

美學美術史專攻

學士 荒井 章三 宗教美術

——ゴシック式彫刻繪面について——

江藤 壽昭 現代に及ぼす現代美の作用

——その一例についての考察——

岡本 重溫 クローチエの美學理論について

清水 善三 白鳳彫刻

原田 平作 ドラクローアの作風

山岡 泰造 (ヴェーリンゲルにおける)建築様式の問題

學士 久納 慶一 音樂に於ける對象性の構造の問題

鹽田 博子 言語の發生(表現としての言語に關して)

福井榮一郎 音樂的時間について

三間 千艸 藝術と世界觀

山崎 正和 作品の藝術史的意味

社會學專攻

學士 金屋 平三 現代に於ける日本家族の變遷

北村 和宥 都市社會學序説

小關 三平 俸給生活者の社會的性格

佐藤 主計 村落社會の分析

——一村落の實態調査報告——

菅原 道生 一村落社會に於ける社會意識

藤村 隆 一農村に於ける上下關係の社會學的考察

森本 秀之 日本に於ける自我の確立について

山本 利夫 流行について

學士 間場 壽一 マックス・ウェーバーの支配社會學に關する一考察

——特に近代官僚制理論を中心として——

居安 正 マックス・ウェーバーの國家論

——

速藤 惣一 産業官僚制

——産業社會學的立場からの一考察——

高津 等 利益社會の相互作用と文化

——大阪の社會學的研究のために——

水野 浩一 文化人類學における機能主義について

—— Radcliffe-Brown と Malinowski

山口 素光 東亞における村落の統一と宗教

宗教學專攻

修士 稻葉 稔 Martin Heidegger zur Seinfrage

西山 光憲 カント哲學に於ける主體性について

宮地 たか ハイデッカーに於ける人間存在について

佛教學專攻

修士 海惠 宏樹 佛敎論理學派の現量について

修士 丹治 昭義 目稱の二諦説

——入中論第六地の研究——

前原 仁幸 歎異鈔の思想的研究

基督敎學專攻

修士 清水 正昭 キエルケゴールの「不安の概念」について

修士 小池 三郎 アウグスティヌスの豫定論

——セミ・ペラギアニスムス論争にかかわる試論——

京都大學大学院文學研究科

博士課程單位取得者研究發表題目

(哲學科關係)

——昭和三十三年三月十五日、十七日

文學部第一講義室——

哲學專攻

伊藤結城夫 論理成立の基礎

——ヘーゲル哲學における現象と論理に關して——

土岐 邦夫 フィヒテ哲學についての一考察

西山 邦彦 五念門における讀叢の實踐的構造

西洋哲學史專攻

大槻眞一郎 エムペドクレス「断片」とその解釋

水地 宗明 De Materiae Quaestiones Platonico-Plotininae

山下 正男 古代ギリシャにおけるシュロギスモスの成立過程

心理學專攻

神戸 忠夫 知覺の要因としてのトース

室伏 靖子 二次性強化の機能について

社會學專攻

河村 雷雨 わが國近世における町人家族

角 節郎 社會調査の方法

社會統制論

中 久郎 祖先崇拜

宗教學專攻

前田 卓 フィヒテ後期知識學における絕對者と自我

大峯 顯